

**2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)**

2023年11月1日

上場会社名 株式会社スカパーJ S A Tホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9412 URL <https://www.skyperfectjsat.space/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米倉 英一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松谷 浩一 (TEL) 03-5571-1500  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月2日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 証券アナリスト、機関投資家向け )

(百万円未満切捨て)

**1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)**
**(1) 連結経営成績(累計)**

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,498	4.3	13,401	20.2	13,839	18.9	8,555	11.1
2023年3月期第2四半期	57,996	△0.7	11,147	2.7	11,635	1.8	7,703	△9.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 10,716百万円( 5.5%) 2023年3月期第2四半期 10,157百万円( 1.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	29.47	—
2023年3月期第2四半期	26.53	—

**(2) 連結財政状態**

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	398,348	262,924	65.6	905.72
2023年3月期	399,055	256,815	64.0	879.33

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 261,399百万円 2023年3月期 255,420百万円

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2024年3月期	—	10.00			
2024年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

**3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)**

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△0.1	22,500	0.8	22,000	△5.2	15,000	△5.1	51.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	297,578,423株	2023年3月期	297,404,212株
2024年3月期2Q	8,968,086株	2023年3月期	6,933,124株
2024年3月期2Q	290,339,371株	2023年3月期2Q	290,361,421株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 5 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、本文中の記載金額は、億円単位の表示は億円未満四捨五入とし、百万円単位の表示は百万円未満切捨てとしております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかに回復しております。

当社グループを取り巻く環境としては、宇宙事業の分野では船舶・航空機向けの移動体衛星通信や多岐にわたる分野での衛星データ利活用の需要が拡大しております。また、世界レベルで新たな事業者が宇宙ビジネスに参入し、大規模な低軌道衛星通信システムプロジェクトを推進するなど、ビジネスの環境が大きく変化しております。

メディア事業の分野では、動画配信サービス市場が拡大する一方で、有料放送市場でのマイナス成長や動画配信サービス市場での事業者の合従連衡の動きもみられる等、激しく市場環境が変化しております。

このような経済状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は次のとおりとなりました。

区分	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益	57,996	60,498	2,501	4.3%
営業利益	11,147	13,401	2,254	20.2%
経常利益	11,635	13,839	2,203	18.9%
税金等調整前四半期純利益	11,461	12,997	1,535	13.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,703	8,555	852	11.1%

なお、EBITDAは前年同四半期比11億円増加し、237億円となっております。

(注) EBITDAは、親会社株主に帰属する四半期純利益、法人税等合計、支払利息、減価償却費、のれん償却額の合計として算定しております。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりです。(経営成績については、セグメント間の内部営業収益等を含めて記載しております。)

## &lt;宇宙事業&gt;

## ・既存事業の強化

国内衛星ビジネスにおいては、2023年3月に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との間で協定を締結した近地球追跡ネットワークサービスに関して、海外地上局を共同でサービス提供することについて、2023年5月にKongsberg Satellite Services ASと合意いたしました。通信衛星及び回線の運用を通じて得たノウハウを活かした新たなサービスを展開し、宇宙利用の拡大や宇宙産業の発展に貢献してまいります。

グローバル・モバイルビジネスにおいては、ハイスループット衛星JCSAT-1Cの利用が拡大しており、同じくハイスループット衛星であるHorizons 3eとともに、今後の収益拡大を見込んでおります。また、2023年8月には、Intelsat S.A.との共同衛星Horizons-4の打ち上げに成功いたしました。本衛星の投入により、アラスカ、ハワイを含む米国50州、メキシコ、カリブ海全域、及び太平洋地域の移動体通信需要に対応してまいります。加えて、2027年上期にはフルデジタル衛星Superbird-9の運用を開始予定であり、市場や顧客の多様なニーズへの対応を通して、一層の事業拡大と競争力強化に努めてまいります。

## ・新たな技術の活用や事業領域拡大への取り組み

通信分野では、新たな宇宙インフラの構築を目指し、日本電信電話㈱との合弁会社㈱Space Compassにおいて、光データリレーサービスの提供に向けた衛星の調達を進めるとともに、地球観測衛星事業者との間で協業に向けた検

討を進めております。

ビジネスインテリジェンス分野においては、2023年6月に、カタール環境省（Ministry of Environment and Climate Change）向けに、SAR（Synthetic Aperture Radar：合成開口レーダー）衛星画像を活用した海上オイル漏れ検知サービスの提供を開始いたしました。本サービスの提供を通して、持続可能な社会と環境の実現に貢献してまいります。また、2023年7月には、㈱QPS研究所との間で、同社が開発する小型SAR衛星の運用業務に係る契約を締結いたしました。パートナー企業との連携を強化しながら、新たなサービスの開発や販売活動を推進し、事業領域を拡大してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の宇宙事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	24,727	27,756	3,029	12.3%
セグメント間の内部営業収益等	3,434	3,282	△152	△4.4%
計	28,161	31,038	2,877	10.2%
営業利益	8,336	11,103	2,767	33.2%
セグメント利益（親会社株主に帰属 する四半期純利益）	5,576	7,689	2,112	37.9%

放送トラポン収入が減少した一方で、国内衛星ビジネス分野における機器販売及び回線利用の拡大、グローバル・モバイル分野におけるJCSAT-1CやHorizons 3eの利用拡大及び円安の影響、減価償却費の減少等により、営業収益、営業利益及びセグメント利益は増加いたしました。

#### <メディア事業>

##### ・放送事業・配信事業

2023年シーズンプロ野球では、「プロ野球セット」でセ・パ12球団の公式戦全試合を生放送・配信し、海外サッカー「ドイツブンデスリーガ」では、全試合を放送・配信しております。

2023年5月より、スカパー！ポイントプログラムを開始しております。当社の幅広いサービスに触れていただくことでお客様の体験が深化し、コンテンツライフがこれまで以上に充実したものとなることを目指してまいります。

また、放送・配信にとどまらずリアルサービスとしては、「スカパー！ブンデスリーガジャパンツアー2023」を開催し、FCバイエルン・ミュンヘンを招聘並びに2023年7月29日の川崎フロンターレとの試合を主催いたしました。

2023年8月28日より、一般社団法人OTGコンソーシアムが運営するサービス「Net-VISION」において、「スカパー！番組配信」及び「SPOOX」の配信を開始いたしました。今回の配信開始により、お客様は簡単な設定、リモコン操作で「スカパー！番組配信」及び「SPOOX」をテレビ上でご視聴いただけるなどの利便性の向上が見込まれます。また、当社としても、新たに「Net-VISION」利用者に対して当社が提供するコンテンツの魅力に触れていただく機会を得ることで、「スカパー！」サービス加入者を増やすことも目指しております。

##### ・FTTH事業

光ファイバーによる地上デジタル・BSデジタル等の再送信サービスでは着実に提供エリア拡大を進めており、2023年9月末時点における提供エリアは37都道府県にわたり、提供可能世帯数は約4,280万世帯、契約世帯数は268万世帯に達しております。また、ケーブルテレビ業界の課題解決に向けた新たな方式での多チャンネルサービスとして、業界初の取り組みとなるBS/CS放送のパススルー伝送及び視聴制御を組み合わせたサービスを2022年11月から開始しており、2023年9月末月時点で9局での導入が決定しております。

当第2四半期連結累計期間における加入件数は次のとおりとなりました。

	新規	解約	純増減	累計
当期	252千件	301千件	△49千件	2,826千件
前年同四半期比	10千件	△28千件	38千件	△95千件

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のメディア事業の経営成績は次のとおりとなりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同四半期比 (百万円)	増減率 (%)
営業収益				
外部顧客への営業収益	33,269	32,741	△527	△1.6 %
セグメント間の内部営業収益等	1,535	1,489	△45	△3.0 %
計	34,804	34,230	△573	△1.6 %
営業利益	3,145	2,684	△461	△14.7 %
セグメント利益（親会社株主に帰属 する四半期純利益）	2,272	1,079	△1,192	△52.5 %

契約世帯数の増加等によるFTTH事業収入の増加1億円や営業費用における衛星回線料の減少5億円等がありましたが、累計加入件数減少等の影響による視聴料・業務手数料・基本料収入の減少13億円や特別損失における投資有価証券評価損8億円等により、営業収益、営業利益及びセグメント利益は減少いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,983億円となり、前連結会計年度末比（以下「前期比」）7億円減少いたしました。

流動資産は、Xバンド事業に関する債権回収等により売掛金が46億円減少いたしました。現金及び現金同等物の増加35億円、衛星画像の仕入等に係る前渡金の増加50億円等により、前期比28億円増加いたしました。

有形固定資産及び無形固定資産は、設備投資により77億円増加いたしました。減価償却費99億円等により、前期比22億円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,354億円となり、前期比68億円減少いたしました。

主な増加は前受収益26億円であり、主な減少はXバンド事業及びHorizons 3e事業に関する借入金の返済等による有利子負債の減少28億円、未払金の減少44億円、未払法人税等の減少21億円であります。

当第2四半期連結会計期間末における非支配株主持分を含めた純資産は2,629億円となり、前期比61億円増加いたしました。

主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加54億円であり、主な減少は自己株式の取得14億円であります。また、自己資本比率は65.6%となり、前期比1.6ポイント増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益と減価償却費の合計229億円に加え、売上債権の減少48億円及び前受収益の増加26億円がありましたが、前渡金の増加50億円、未払金の減少44億円、法人税等の支払42億円等により、162億円の収入（前年同四半期は323億円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出56億円、Horizons 3e事業に関する貸付金の回収による収入18億円等により、38億円の支出（前年同四半期は80億円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出48億円、自己株式の取得による支出14億円、配当金支払による支出32億円等により、95億円の支出（前年同四半期は119億円の支出）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前期比35億円増加し、1,114億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、2023年4月28日公表の「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	74,913	57,832
売掛金	61,474	56,878
リース債権	46,234	44,730
有価証券	32,995	52,998
番組勘定	948	1,536
商品	1,232	1,598
仕掛品	349	485
貯蔵品	228	192
前渡金	1,247	6,241
短期貸付金	3,629	3,966
未収入金	706	129
その他	4,982	5,131
貸倒引当金	△88	△79
流動資産合計	228,855	231,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,446	8,812
機械装置及び運搬具（純額）	18,521	17,816
通信衛星設備（純額）	61,640	56,799
土地	2,924	3,098
建設仮勘定	20,523	22,142
その他（純額）	4,337	4,621
有形固定資産合計	115,393	113,291
無形固定資産		
ソフトウェア	4,287	4,155
その他	58	57
無形固定資産合計	4,345	4,213
投資その他の資産		
投資有価証券	24,856	25,715
長期貸付金	12,946	12,162
繰延税金資産	10,154	9,011
その他	2,503	2,313
投資その他の資産合計	50,460	49,203
固定資産合計	170,200	166,707
資産合計	399,055	398,348

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	254	131
1年内返済予定の長期借入金	10,572	11,091
未払金	13,715	9,285
未払法人税等	5,804	3,695
視聴料預り金	6,754	6,897
前受収益	19,145	21,763
賞与引当金	628	565
その他	7,201	7,781
流動負債合計	64,076	61,211
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	52,975	49,682
繰延税金負債	1,102	1,388
退職給付に係る負債	6,545	6,483
資産除去債務	2,273	2,308
その他	5,266	4,350
固定負債合計	78,163	74,213
負債合計	142,239	135,424
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,081	10,129
資本剰余金	131,911	131,958
利益剰余金	114,333	119,693
自己株式	△2,924	△4,338
株主資本合計	253,401	257,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△191	53
繰延ヘッジ損益	7	661
為替換算調整勘定	2,546	3,563
退職給付に係る調整累計額	△343	△321
その他の包括利益累計額合計	2,018	3,956
非支配株主持分	1,395	1,525
純資産合計	256,815	262,924
負債純資産合計	399,055	398,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業収益	57,996	60,498
営業原価	33,493	33,520
営業総利益	24,502	26,977
販売費及び一般管理費	13,355	13,576
営業利益	11,147	13,401
営業外収益		
受取利息	736	1,106
受取配当金	14	19
持分法による投資利益	27	-
為替差益	219	157
その他	182	218
営業外収益合計	1,181	1,501
営業外費用		
支払利息	646	962
持分法による投資損失	-	82
その他	46	18
営業外費用合計	692	1,063
経常利益	11,635	13,839
特別利益		
投資有価証券売却益	59	-
特別利益合計	59	-
特別損失		
投資有価証券評価損	223	842
その他	9	-
特別損失合計	233	842
税金等調整前四半期純利益	11,461	12,997
法人税、住民税及び事業税	3,216	3,370
法人税等調整額	431	890
法人税等合計	3,648	4,261
四半期純利益	7,812	8,735
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	179
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,703	8,555

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	7,812	8,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△216	246
繰延ヘッジ損益	395	667
為替換算調整勘定	2,152	1,017
退職給付に係る調整額	24	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	28
その他の包括利益合計	2,344	1,981
四半期包括利益	10,157	10,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,999	10,493
非支配株主に係る四半期包括利益	157	222

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,461	12,997
減価償却費	10,581	9,900
のれん償却額	33	-
受取利息及び受取配当金	△751	△1,125
支払利息	646	962
持分法による投資損益 (△は益)	△27	82
投資有価証券評価損益 (△は益)	223	842
売上債権の増減額 (△は増加)	4,707	4,769
番組勘定の増減額 (△は増加)	△1,211	△587
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△700	△465
前渡金の増減額 (△は増加)	△536	△4,994
未払金の増減額 (△は減少)	△4,562	△4,432
前受収益の増減額 (△は減少)	10,051	2,612
リース債権の増減額 (△は増加)	1,405	1,504
その他	1,621	△1,826
小計	32,941	20,239
利息及び配当金の受取額	759	1,105
利息の支払額	△522	△952
法人税等の支払額	△888	△4,209
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,290	16,183
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,830	△4,875
無形固定資産の取得による支出	△853	△694
投資有価証券の取得による支出	△79	△75
投資有価証券の売却及び償還による収入	478	-
貸付金の回収による収入	1,347	1,846
関係会社株式の取得による支出	△3,000	-
その他	△79	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,018	△3,797
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	-
長期借入金の返済による支出	△4,252	△4,813
社債の償還による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	-	△1,415
配当金の支払額	△2,610	△3,192
非支配株主への配当金の支払額	△58	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,921	△9,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	922	633
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,273	3,506
現金及び現金同等物の期首残高	85,914	107,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,187	111,415

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年9月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を2,034,900株取得いたしました。この結果、自己株式は当第2四半期連結累計期間において1,414百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において4,338百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	24,727	33,269	57,996	—	57,996
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,434	1,535	4,969	△4,969	—
計	28,161	34,804	62,965	△4,969	57,996
営業利益	8,336	3,145	11,481	△334	11,147
セグメント利益(親会社株主に 帰属する四半期純利益)	5,576	2,272	7,849	△145	7,703

(注1) セグメント利益の調整額△145百万円には、セグメント間取引消去△0百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△145百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	宇宙事業	メディア事業	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
営業収益					
外部顧客への営業収益	27,756	32,741	60,498	—	60,498
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	3,282	1,489	4,771	△4,771	—
計	31,038	34,230	65,269	△4,771	60,498
営業利益	11,103	2,684	13,787	△385	13,401
セグメント利益(親会社株主に 帰属する四半期純利益)	7,689	1,079	8,768	△213	8,555

(注1) セグメント利益の調整額△213百万円には、セグメント間取引消去△0百万円と、各報告セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△212百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び税金費用であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(共同衛星事業への出資)

スカパーJSAT(株)の100%子会社であるJSAT International Inc.は、Intelsat S.A.(本社:ルクセンブルク)との5機目の共同衛星である「Horizons-4」を用いた共同衛星事業を行うため、当該衛星を保有するHorizons-4 Satellite LLCへ、2023年10月に25百万ドルの出資を実行いたしました。

通信衛星「Horizons-4」の概要

運用予定軌道位置	西経127度
打上日時	2023年8月3日
周波数	Kuバンド
主要カバレッジ	北米及び太平洋